

平成26年度事業計画

特定非営利活動法人 長野サマライズ・センター

平成25年10月1日から平成26年9月30日まで

1. 事業の方向性

継続して、一番の活動目標を「初等中等教育で普通学校に通う難聴児の授業支援制度実現」とし、
 昨年ど実現されなかった地元長野県内での関係を深めるとともに、全国の難聴当事者・保護者団体との連携、
 医療関係組織、大学、学生、企業などと幅広い連携の実現により、支援制度実現に向けた環境作りをより一層進める。

日本財団助成金事業で『遠隔システム』の全国への普及も、ますます積極的に行い、十分な支援が行えるよう、
 人材の全国ネットワークを広げていく。

それにより、全国各地との連携を進め、“サマライズの存在価値”を高めていくことで、聴覚障がいの理解や
 情報保障の必要性を認知してもらうことにつなげていく。

同様のサービスを提供する企業とはますますの関係を強化するとともに、長野県内の大、中小の企業とも、
 さらに情報提供や協働して取り組める事業を実施し、地域を含めた『三方良し』を目指す。

オンラインサイトをますます活用し、会費収入・寄付金などを増やす努力を行い、活動の充実を目指す。
 認定NPO法人の認証取得を視野に入れて取り組む。

2. 事業実施に関する事項

○ 特定非営利に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施場所	従事者 の人数	受益対象者の範囲及び 人数	支出額 (千円)
パソコン要約筆記通訳者の派遣を行う事業	要約筆記委託事業	H25.10.1~H26.9.30	事務所、 県施設、各市町村施設	20名	全国 3000名	800
パソコン要約筆記通訳の人材発掘と育成事業	養成講座実施 県内の勉強会を運営	H25.10.1~H26.9.30	拠点 長野、塩尻、佐久	8名	長野県民 400名	400
IT技術の福祉分野への活用を推進する事業	情報収集と提供	H25.10.1~H26.9.30	事務所等	4名	全国活動者・支援団体、企業等 1000名	640
要約筆記・パソコン要約筆記についての相談と助言に関する事業	全国パソコン通訳者のネットワーク化	H24.10.1~H25.9.30	事務所等	4名	全国活動者・支援団体、企業等 200名	1440
障害者・青少年の生きがい作りと人材育成事業	教育現場での授業サポート	H24.10.1~H25.9.30	県内小中学校	20名	聴覚障害児童・学生 350名	400
	テープ起こしデータ入力	H25.10.1~H26.9.30	事務所等	12名	地域住民市町村等 150名	1600
	助成事業	H25.10.1~H26.9.30	全国各地	20名	聴覚障害者・見 全国活動者等 100名	1440
その他、目的達成のために必要な事業	PR活動	H25.10.1~H26.9.30	事務所等	6名	依頼側、参加者 聴覚障害者、市民 7000名	720
	助成事業等	H25.10.1~H26.9.30	事務所等	4名	依頼者、参加者、 聴覚障害者等 1000名	800
一般管理費	事務作業等 諸経費	H25.10.1~H26.9.30	事務所等	4名	30名	2400